

みらいのおおくまマッピングワークショップ

【「できたらいいこと」どこですか？】

日 時 令和6年3月2日（土）13時30分～16時30分

場 所 大熊町役場1階 多目的スペース（オンラインでも開催）

参加者 16名（うちオンライン参加1名）

主な内容

・令和5年度に完成した社会教育複合施設基本構想のご説明

ー過去に行ったワークショップの振り返り

「本と文化財と歴史公文書で何ができる？」「記憶と記録で紡ぐあなたの大熊町」

ー施設コンセプト・活動方針・整備スケジュール等

・社会教育複合施設基本計画のご説明

ー過去に町内で行ったまちづくり関連ワークショップの結果の分析と本ワークショップの位置づけ

・1,2月みらいのおおくまマッピングワークショップの振り返りとプロセスの共有

ー1月、2月開催ワークショップの内容と結果を設計者より説明

・ワークショップ開催時点における社会教育複合施設の基本計画のご説明

ー基本計画を作成するプロセスの説明と1月、2月開催のワークショップの意見が基本計画へどのように反映されたか説明

・ワーク①

ー一人でワークシートに取り組み、参加者、イス、テーブル、仕切り、本棚、資料等の写真を張り付けていき、社会教育複合施設内の一人の居場所（イコイバ）を想像

ー個人ワークは会場内であれば個人の好きな場所で自由に実施

・ワーク②

ーワーク①で自分と近い場所で作業をしていた参加者同士や個人ワークシートで似たようなワークシート結果の参加者同士でペアを結成

ーペアワークに取り組み、ワーク①と同じワーク形式で社会教育複合施設内の二人以上の居場所（ミセバ、ツクリバ、アソビバ）を想像

・ワーク③

ーペアからグループを結成

ーワーク①、ワーク②を組み合わせ社会教育複合施設内においてそれぞれの居場所がどのような配置になればよいか議論

・ワーク（オンライン参加者）

ー現地のワークショップ風景を見学

各グループで出てきた意見は次の通り

（グループ1）

ワーク③



（グループ2）

ワーク③



(グループ3)

ワーク③



(グループ4)

ワーク③



(グループ5)

ワーク③

